

第七回市民タイムス杯少年サッカー新人戦は十五日、松本市島内のあずさ運動公園グラウンドでベスト8(上松少年サッカークラブは棄権)が対戦し、松島サッカーカースポーツ少年団が1-0で清水サッカーカースポーツ少年団を破り、三年ぶり二回目の優勝を飾った。



ゴール前で両チームの激しい攻防(決勝の松島-清水)



ファイト満々のボール争奪(準決勝の松島-松本北)



ゴールキーパーの懸命のジャンプも及ばずシュートが決まる(準々決勝の筑摩-清水)



ドリブルでボールをキープして相手ゴールをめざす(準々決勝の豊科-島立)

### 第7回市民タイムス杯少年サッカー新人戦

## 果敢に松島 清水を制す

決勝戦は、ともに松本市の松島と清水(三澤秀登代表)の両サッカーカースポーツ少年団が対戦した。松島は前半八分、ゴール前の混戦から、正面を突くシュートが決まり先制した。清水は後半二分、がら空きとなったゴールにシュートしたもののオフサイドで得点にならなかった。試合終了三分前には、ゴール前のフリーキックを得たが、堅



優勝した松島イレブンに表彰状を授与

い守りに阻まれた。松島は大半を敵陣で戦うなど、終始果敢に攻め、前半の得点を守りきり、市民タイムス杯を獲得した。松島サッカーカースポーツ少年団・堀内俊男監督の話。清水チームには別の大会で敗れているので、

フレッシュ8強  
風のなか走った

決勝戦は子どもたちの気が力充実していました。準々決勝、準決勝とは見

### 「パスの通りよかった」

閉会式では、中野幹緒役編集局長から、優勝した松島に賞状とトロフィーが贈られ、準優勝の清水、三位の松本北、豊科の両チームにも賞状とトロフィー、三位以上の全選手に、メダルが授与された。

乾靖運営委員長は大い試合を見ていた。松島チームは、パスの通りよかったです。各チームともこれは、常に次のフレッシュを考えて動く練習をしてください」と激励した。

運ぶような動きをしてくれました。これからは追われる立場で大変ですが、目標は全国大会です。島村徹主将の話。決勝戦は試合前から、わくわくしていました。フリーキックのときは、点が入ると思いが苦しかった。一人ひとりがよく動いて、力を合わせたのがよかったです。と思います。